



CHAPTER 5

VMware を使用したハイ アベイラビリティ、ライブマイグレーション、および Storage VMotion のための Cisco Prime LMS のセットアップ

この章では、VMware vSphere ソリューションを使用して、ハイ アベイラビリティ (HA) 環境、ライブマイグレーション、および Storage VMotion 用に LMS をセットアップする方法について説明します。

VMware ハイ アベイラビリティ (HA) は HA で使用されるソリューションであり、VMware VMotion はライブマイグレーションで使用されます (Storage VMotion を含む)。

この項では次の内容について説明します。

- [VMware ハイ アベイラビリティの概要](#)
- [VMware VMotion と Storage VMotion の概要](#)
- [VMware を使用した仮想マシンのクローニング](#)

VMware ハイ アベイラビリティの概要

VMware ハイ アベイラビリティ (HA) は、計画済みまたは想定外のダウンタイムにおいても高レベルな可用性が確保される、シンプルで費用対効果が高いソリューションです。

VMware HA では、次のことが実現します。

- ハードウェア、オペレーティングシステム、およびアプリケーションから、より高度に独立した可用性が提供されます。
- 通常のメンテナンス操作では、計画済みのダウンタイムが削減されます。
- 障害が発生した場合は、自動的に再起動されます。

VMware HA では、クラスタとして設定されている複数の ESX ホストまたは ESXi ホストを使用して、使用不能状態から急速にリカバリされ、仮想マシンで実行されているアプリケーションのハイ アベイラビリティが確保されます。フェールオーバーによる保護が確立できるようにするには、ユーザは、クラスタを作成し、ホストを使用して入力し、VMware HA 設定を行う必要があります。

ホストの初期設定を完了した後、vSphere Client をダウンロードし、インストールします。vSphere Client は、ホストを設定し、その仮想マシンを動作させるために使用できる、Windows プログラムです。これによって、ESX ホストまたは ESXi ホスト、および、vCenter サーバシステムへの接続がイネーブルにされます。ホストに接続し、仮想アプライアンスをインポートすることによって仮想マシンを追加します。

VMware HA は、次の 2 つの方法でアプリケーションの可用性を保護します。

- クラスタ内の他のホストで仮想マシンを自動的に再起動することによって、サーバ障害から保護されます。
- 仮想マシンを継続的に監視し、障害の検出時にイベントでリセットを行うことによって、アプリケーション障害から保護されます。

この項では次の内容について説明します。

- [ハイアベイラビリティをセットアップするための VMware vSphere コンポーネント](#)
- [ハイアベイラビリティ実装の前提条件](#)
- [VMware HA を使用したハイアベイラビリティの設定](#)
- [VMware HA クラスタの作成](#)

ハイアベイラビリティをセットアップするための VMware vSphere コンポーネント

次の VMware vSphere コンポーネントが LMS HA ソリューションで使用されます。

- VMware ESX または ESXi
プロセッサ、メモリ、ストレージ、およびリソースを複数の仮想マシンに取り出す物理サーバで実行される仮想レイヤ。VMware ESX 4.0 と VMware ESXi 4.0 の 2 つのバージョンの ESX を使用できます。
- VMware vCenter サーバ
仮想化 IT 環境を設定、プロビジョニング、および管理する一元的なポイントです。
- VMware vSphere Client
ホストを設定し、その仮想マシンを操作するために使用できるプログラム。これによって、ESX ホストまたは ESXi ホスト、および、vCenter サーバシステムへの接続がイネーブルにされます。vSphere Client は、ユーザが任意の Windows PC から vCenter Server または ESX または ESXi にリモートに接続できるインターフェイスとして動作します。

ハイアベイラビリティ実装の前提条件

VMware HA を使用した LMS 4.1 で HA を実装する前提条件は、次のようにグループ化されます。

- [VMware ESX Server の要件](#)
- [VMware vCenter サーバの要件](#)
- [VMware HA クラスタの要件](#)
- [共有ストレージの要件](#)
- [その他の要件](#)

VMware ESX Server の要件

- ESX ホストまたは ESXi ホストは、それぞれ、ESX または ESXi 4.0 および vSphere クライアントによってサポートされるハードウェアの最小要件を満たしています。
- ESX または ESXi サーバには、次の要件があります。
 - すべてのネットワークへのアクセスを行えること。
 - 互換性のある CPU を使用すること。

VMware vCenter サーバの要件

- VMware vCenter サーバでは、次の要件を満たしていることを確認してください。
 - 適切なライセンスを使用して Windows マシンにインストールされていること。
 - ESX ホストまたは ESXi ホスト、vSphere Client、およびインターネットにアクセスできること。
 - vCenter サーバのハードウェア要件を満たしていること。

VMware HA クラスタの要件

- 仮想マシンでは、次の動作は認められません。
 - ISO またはフロッピー イメージを使用した、ホスト サーバに対してローカルのドライブの CD-ROM またはフロッピー ドライブへの接続。
 - 物理 CPU への接続。
- すべての仮想マシンとその設定ファイルは、ソースとターゲットの両方の ESX ホストにアクセスできる共有ストレージにある必要があります。
- vSphere クライアントは、ESX ホストまたは ESXi ホスト、および vCenter サーバにネットワーク経由でアクセスでき、さらにインターネットにアクセスできる、Windows マシンにインストールされる必要があります。

共有ストレージの要件

共有ストレージは、通常、Storage Area Network (SAN; ストレージエリア ネットワーク) にありますが、iSCSI および NAS 共有ストレージにも実装できます。

その他の要件

- LMS 4.1 で HA を正常に動作させるには、すべての冗長ネットワーク接続が同じサブネットにある必要があります。
- LMS 4.1 をインストールする前に、正常なフェールオーバーを確認してください。



(注)

詳細については、VMware vSphere 4.0 のマニュアルを参照してください。

VMware HA を使用したハイ アベイラビリティの設定

この項では、VMware HA を使用した LMS 4.1 の HA を設定する手順を次に示します。

1. 2 台以上のサーバで ESX または ESXi 4.0 をインストールします。
2. 任意のサーバに適切なライセンスを使用して vCenter Server 4.0 をインストールします。
3. クライアント サーバに vSphere クライアントをインストールし、vCenter サーバに接続します。
4. クラスタを作成し、それに ESX ホストまたは ESXi ホストを追加します。詳細については、[VMware HA クラスタの作成](#)を参照してください。
5. クラスタのすべてのホストにアクセスできる共有ストレージを設定します。
6. 仮想マシンを作成し、データストアを共有ストレージディスクとして選択します。
7. 作成されたクラスタに対して、VMware HA の設定を行います。
8. クラスタでは、十分なリソースを使用できることを確認してください。
9. vSphere クライアントで、([Cluster] > [Summary] ページを選択して) エラー メッセージまたはアラート メッセージがないことを確認します。
10. 共有ストレージで作成された仮想マシンに、LMS 4.1 をインストールします。

VMware HA クラスタの作成

フェールオーバーによる保護が確立できるようにするには、ユーザは、クラスタを作成し、ホストを使用して入力し、VMware HA 設定を行う必要があります。vSphere Client を使用して VMware HA クラスタを作成するには、次の操作を実行します。

-
- ステップ 1** vSphere クライアントで、[Hosts & Clusters] ビューを選択します。
 - ステップ 2** [Inventory] ツリーで [Datacenter] を右クリックし、[New Cluster] をクリックします。
 - ステップ 3** [New Cluster] ウィザードを完了します。この時点では、VMware HA (または DRS) はイネーブルにしないでください。
 - ステップ 4** [Finish] をクリックしてウィザードを閉じ、空のクラスタを作成します。
 - ステップ 5** クラスタのリソースとネットワーク アーキテクチャの計画に基づいて、vSphere Client を使用し、クラスタにホストを追加します。
 - ステップ 6** クラスタを右クリックし、[Edit Settings] をクリックして、クラスタの VMware HA (およびその他の) 設定を変更します。
 - ステップ 7** [Cluster Features] ページで、[Turn On VMware HA] を選択します。
 - ステップ 8** 使用するクラスタで、VMware HA の設定を行います。
 - ホスト監視ステータス
 - アドミッション制御
 - 仮想マシン オプション
 - VM モニタリング
 - ステップ 9** [OK] をクリックして、クラスタの [Settings] ダイアログボックスを閉じます。ホストを指定済みの、設定済み VMware HA クラスタが作成されます。
-



(注) VMware HA 設定の詳細については、VMware vSphere 4.0 のマニュアルを参照してください。

VMware VMotion と Storage VMotion の概要

移行とは、1 台のホストまたはストレージの場所から別の場所へ、仮想マシンを移動する処理です。VMware VMotion を使用すると、ユーザは、異なる物理サーバまたは接続されている異なるストレージに、サービスを中断することなく動的に負荷を移動できます。

VMware Storage VMotion を使用すると、継続的なサービスの可用性およびトランザクションの完全な整合性を維持しながら、共有ストレージ間で仮想マシンのディスク ファイルを再配置できます。

VMotion で移行を行うと、移行中も仮想マシンの作業プロセスを継続できます。仮想マシンの全体の状態が新しいホストに移動される一方で、関連付けられている仮想ディスクは、2 台のホスト間で共有されているストレージと同じ場所に残ります。仮想マシンの状態が代替ホストに移行されると、仮想マシンが新しいホストで実行されます。

VMotion で仮想マシンを移行する場合、移行を進めるためには、仮想マシンの新しいホストが互換性の要件を満たす必要があります。

VMotion を使用した移行は、次の 3 つの段階で実行されます。

1. VMotion を使用した移行が要求された場合、vCenter Server では、既存の仮想マシンが、現在のホストを使用して安定した状態にあるかどうかを確認されます。
2. 仮想マシンの状態情報（メモリ、登録、およびネットワーク接続）は、ターゲット ホストにコピーされます。
3. 新しいホストで、仮想マシンのアクティビティが再開されます。

移行中にエラーが発生した場合、仮想マシンは、元の状態と場所に戻されます。

一時停止されている仮想マシンの移行と、VMotion を使用した移行は、電源をオフにすることなく仮想マシンを移行できるため、即時移行と呼ばれます。

この項では次の内容について説明します。

- [移行のための VMware vSphere コンポーネント](#)
- [VMotion を使用した移行の前提条件](#)
- [移行のための VMware vSphere コンポーネント](#)
- [VMware VMotion を使用した LMS 4.1 の移行](#)

移行のための VMware vSphere コンポーネント

LMS 4.1 のライブ マイグレーションでは、次の VMware vSphere コンポーネントが使用されます。

- VMware ESX または ESXi
プロセッサ、メモリ、ストレージ、およびリソースを複数の仮想マシンに取り出す物理サーバで実行される仮想レイヤ。VMware ESX 4.0 と VMware ESXi 4.0 の 2 つのバージョンの ESX を使用できます。
- VMware vCenter サーバ
仮想化 IT 環境を設定、プロビジョニング、および管理する一元的なポイントです。
- VMware vSphere Client
ホストを設定し、その仮想マシンを操作するために使用できるプログラム。これによって、ESX ホストまたは ESXi ホスト、および、vCenter サーバ システムへの接続がイネーブルにされます。vSphere Client は、ユーザが任意の Windows PC から vCenter Server または ESX または ESXi にリモートに接続できるインターフェイスとして動作します。
- VMware VMotion
VMware VMotion を使用すると、1 台の物理サーバから別のサーバへ、ダウンタイムなしで実行中の仮想マシンをライブ移行できます。
- ストレージ アレイ
移行されたディスク ファイルが格納される共有ストレージ ディスク。

VMotion を使用した移行の前提条件

ここでは、VMware VMotion を使用した移行の前提条件について説明します。前提条件は、次のようにグループ化されます。

- すべてのホストおよびサーバが、ハードウェアとソフトウェアの要件を満たしていることを確認します。
- 各ホストで、次の要件を満たしている必要があります。
 - VMotion のライセンスが正しく取得されていること。
 - (ESX ホスト上の) サービス コンソールで 1 つの専用のイーサネット回線を使用します。
 - VMotion で 1 つの専用のギガビット イーサネット アダプタを使用します。
- ESX または ESXi サーバには、次の要件があります。
 - ギガビット イーサネットまたは高速なネットワークを使用して、接続されていること。
 - 同じ物理ネットワークにアクセスできること。
 - 互換性のある CPU を使用すること。
 - すべての共有ストレージにアクセスできること
- VMware vCenter サーバでは、次の要件を満たしていることを確認してください。
 - 適切なライセンスを使用して Windows マシンにインストールされていること。
 - ESX ホストまたは ESXi ホスト、vSphere Client、およびインターネットにアクセスできること。
 - vCenter サーバのハードウェア要件を満たしていること。
- 移行する仮想マシンは、ソース ホストとターゲット ホストの両方にアクセスできるストレージにある必要があります。

- 仮想マシン (VM) では、次の動作は認められません。
 - ISO またはフロッピー イメージを使用した、ホスト サーバに対してローカルのドライブの CD-ROM またはフロッピー ドライブへの接続。
 - 物理 CPU への接続。
 - Microsoft Cluster Service (MSCS) などのクラスタ サービスを使用した別の VM とのクラスタ化。
- 仮想マシンから、ソース ホストと宛先ホストにある同じサブネットにアクセスできることを確認します。
- 仮想マシンのポート グループに使用されているネットワーク ラベルについて、すべてのホストで整合性が保たれていることを確認します。
VMotion を使用した移行中には、一致するネットワーク ラベルに基づいて、vCenter サーバによって、仮想マシンがポート グループに割り当てられます。
- 共有ストレージの要件
共有ストレージは、通常、Storage Area Network (SAN; ストレージ エリア ネットワーク) にありますが、iSCSI および NAS 共有ストレージにも実装できます。



(注)

詳細については、VMware vSphere 4.0 のマニュアルを参照してください。

VMware VMotion を使用した LMS 4.1 の移行

ここでは、VMware VMotion を使用して LMS 4.1 を移行する手順を示します。

1. 2 台以上のサーバで ESX または ESXi 4.0 をインストールします。
2. 任意のサーバに適切なライセンスを使用して vCenter Server 4.0 をインストールします。
3. vSphere Client をインストールします。
4. クラスタを作成し、それにすべての ESX ホストまたは ESXi ホストを追加します。Storage VMotion の場合は、このクラスタに ESX サーバを追加します。
5. 共有ストレージから、ソースとターゲットの両方の ESX ホストまたは ESXi ホストにアクセスできることを確認します。
6. vSphere 4.0 で VMotion を設定します。
7. 各ホストで、VMotion の VMkernel ポート グループを設定します。
8. 仮想マシンを作成し、データストアをストレージ ディスクとして選択します。
9. LMS 4.1 をインストールする前に、移行が正常に行われることを確認します。
10. ターゲットの ESX ホストまたは ESXi ホストでは、十分なリソースを使用できることを確認してください。
11. クラスタ内の任意の仮想マシンに、LMS 4.1 をインストールします。
12. 仮想マシンを 1 つのホストから別のホストに移行します。詳細については、[VMotion を使用した仮想マシンの移行](#)を参照してください。
13. 仮想マシンを 1 つのストレージから別のストレージに移行します。詳細については、[Storage VMotion を使用した仮想マシンの移行](#)を参照してください。

VMotion を使用した仮想マシンの移行

電源が投入されている仮想マシンを、VMotion テクノロジーを使用して 1 台のホストから別のホストに移行するには、次の操作を実行します。

-
- ステップ 1** インベントリに移行する仮想マシンを表示します。
 - ステップ 2** 仮想マシンの上で右クリックし、ポップアップメニューから [Migrate] をクリックします。
 - ステップ 3** [Change host] を選択し、[Next] をクリックします。
 - ステップ 4** 仮想マシンの宛先ホストを選択します。
互換性に問題がある場合は、[Compatibility] パネルに表示されます。問題を修正するか、別のホストまたはクラスタを選択します。
 - ステップ 5** リソース プールを選択し、[Next] をクリックします。
 - ステップ 6** 移行プライオリティ レベルを選択し、[Next] をクリックします。
 - ステップ 7** ページを確認し、[Finish] をクリックします。
仮想マシンの移行プロセスを開始するタスクが作成されます。
-

Storage VMotion を使用した仮想マシンの移行

電源が投入されている仮想マシンを、VMotion テクノロジーを使用して 1 つのストレージから別のストレージに移行するには、次の操作を実行します。

-
- ステップ 1** インベントリに移行する仮想マシンを表示します。
 - ステップ 2** 仮想マシンの上で右クリックし、ポップアップメニューから [Migrate] をクリックします。
 - ステップ 3** [Change Datastore] を選択し、[Next] をクリックします。
 - ステップ 4** 仮想マシンの移行先となるストレージを選択します。
互換性に問題がある場合は、[Compatibility] パネルに表示されます。問題を修正して移行を続行します。
 - ステップ 5** 移行後の仮想マシンを格納するフォーマットを選択します。デフォルトでは、仮想マシンが作成された際に使用されたフォーマットタイプと同じフォーマットタイプが使用されます。
 - ステップ 6** ページを確認し、[Finish] をクリックします。
仮想マシンの移行プロセスを開始するタスクが作成されます。タスクが完了すると、仮想マシンが目的のストレージに移行されます。VMware インフラストラクチャまたは Vcenter サーバクライアントを使用して、その仮想マシンの [Summary] タブをチェックすることによって確認できます。
-

VMware を使用した仮想マシンのクローニング

クローンとは、既存の仮想マシンのコピーです。既存の仮想マシンは、クローンの親と呼ばれます。クローニング操作が完了すると、クローンは異なる仮想マシンとなります。

- クローンに変更を行っても、親仮想マシンに影響しません。
- 親仮想マシンに対する変更は、クローンには表示されません。
- クローンの MAC アドレスおよび UUID は、親仮想マシンの MAC アドレスおよび UUID とは異なります。

ここでは、次の内容について説明します。

- [クローンの利点](#)
- [クローンの種類](#)
- [クローンの種類](#)

クローンの利点

ゲスト オペレーティング システムとアプリケーションのインストールには、時間がかかることがあります。クローニングを行うと、単一のインストールおよびコンフィギュレーション プロセスで、多数の仮想マシンのコピーを作成できます。クローンは、多数の同一の仮想マシンを 1 つのグループに配置する必要がある場合に役立ちます。

クローンの種類

クローンには次の 2 種類があります。

- 完全クローン

完全クローンは、仮想マシンの独立したコピーであり、クローニング操作後に仮想ディスクを親仮想マシンと共有しません。また、親仮想マシンへのアクセスや現時点の接続を維持しない、親仮想マシンとは別の仮想マシンです。

完全クローンのパフォーマンスは、リンク クローンのパフォーマンスよりも優れています。ただし、完全クローンの作成は、リンク クローンの作成よりも時間がかかります。

- リンク クローン

リンク クローンは、動作中に仮想ディスクを親仮想マシンと共有する、仮想マシンのコピーです。これによりディスク容量を節約し、複数の仮想マシンで同じソフトウェア インストールを使用できます。

リンク クローンは、親のスナップショットから作成されます。スナップショットの時点で親が使用可能なすべてのファイルは、リンク クローンでも引き続き使用できます。親の仮想ディスクで進行中の変更はリンク クローンに影響を与えず、リンク クローンのディスクへの変更は親に影響を与えません。リンク クローンは、親にアクセスする必要があります。親にアクセスできない場合、リンク クローンはディセーブルされます。

サポートされるクローニングの方法

次のクローニング方法がサポートされています。

- [親仮想マシンからの新しい仮想マシンのクローニング](#)
- [親 VM からテンプレートへのクローニングと新しい VM へのテンプレートの配置](#)

親仮想マシンからの新しい仮想マシンのクローニング

ここでは、親 VM から新しい仮想マシン (VM) をクローニングする方法について説明します。この項の内容は、次のとおりです。

- [前提条件](#)
- [新しい仮想マシンのクローニング](#)
- [クローン仮想マシンでの LMS の設定](#)
- [既知の問題](#)

前提条件

ここでは、親から新しい VM にクローニングするための前提条件について説明します。

- 任意のサーバに適切なライセンスを使用して vCenter Server 4.0 をインストールします。
- クライアントサーバに vSphere クライアントをインストールし、vCenter サーバに接続します。
- マシンに ESX 4.0 をインストールします。
- データセンターを作成し、ESX ホストをそのデータセンターに追加します。
- ホストからアクセスできる共有ストレージを設定します。
- 仮想マシンを作成し、データストアを共有ストレージディスクとして選択します。
- 仮想マシンに LMS をインストールします。

新しい仮想マシンのクローニング

ここでは、親 VM から新しい VM をクローニングする方法について説明します。

1. vSphere Client を起動し、作成済みの仮想マシンを検索します。
2. [Summary] タブで [Clone to New Virtual Machine] オプションを選択します。
3. 新しい仮想マシン (クローン) の名前を入力し、[Inventory Location] を選択して [Next] をクリックします。
4. 新しい VM を実行するホストを選択し、[Next] をクリックします。
5. 仮想マシン ファイルを格納するデータストアを選択し、[Next] をクリックします。
6. [Same format as source] オプションを選択し、[Next] をクリックします。
7. [Do not customize] オプションを選択し、[Next] をクリックします。
8. 設定を確認し、[Power on the virtual machine after creation] を選択します。
9. [Finish] をクリックし、クローンの作成プロセスを開始します。

クローンの作成プロセスの経過は、[Recent Tasks] オプション、または ESX ホストの [Tasks & Events] タブに表示できます。



(注) 各ステップの完了後に [Compatibility] パネルを確認して、互換性に問題がないか調べてください。問題を修正して移行を続行します。

クローン仮想マシンでの LMS の設定

ここでは、クローン仮想マシンで実行する LMS の設定方法について説明します。

1. クローンの IP アドレスを設定します ([Control Panel] > [Network and Sharing Center] > [Manage Network Connections] > [Properties] > [Internet Protocol Version 4])。
2. クローン VM のホスト名を変更します ([Control Panel] > [System] > [Advanced System Settings] > [Computer Name])。
3. サーバをリブートして新しいホスト名を有効にします。
4. 新しいホスト名を使用できるように、LMS の hostnamechange.pl スクリプトを実行します。
 - a. `net stop crmdmgttd` コマンドを使用してデーモンを停止します。
 - b. `NMSROOT¥bin¥perl NMSROOT¥bin¥hostnamechange.pl` コマンドを実行します。
スクリプトから、サーバのリブートを求められます。
5. サーバをリブートすると、すべてのプロセスがクローンで実行されます。

既知の問題

- hostnamechange.pl スクリプトを実行した後に、システム定義ポーラーが Instance Not Found ステータスに移行します。

回避策として、dbreader を起動して次のクエリーを実行します。

- Poller_Group_Details 値に (6,(select id from Group_Master_Table where group_name like '%PMC Groups/Port Groups/Link Ports')) を挿入
- Poller_Group_Details 値に (7,(select id from Group_Master_Table where group_name like '%PMC Groups/Port Groups/Link Ports')) を挿入
- Poller_Group_Details 値に (8,(select id from Group_Master_Table where group_name like '%PMC Groups/Port Groups/Link Ports')) を挿入
- Poller_Group_Details 値に (4,(select id from Group_Master_Table where group_name like '%System Defined Groups')) を挿入
- Poller_Group_Details 値に (5,(select id from Group_Master_Table where group_name like '%System Defined Groups')) を挿入
- UPMPProcess を再起動してポーラーをアクティブ ステータスに移行

特記事項

- dbreader の URL : `http://hostname:1741/dbreader/dbreader.html`
- ユーザ ID : `dba` とデータベース名 : `upm`
- UPMPProcess を停止するコマンド : `pdterm UPMPProcess`
- UPMPProcess を起動するコマンド : `pdexec UPMPProcess`

親 VM からテンプレートへのクローニングと新しい VM へのテンプレートの配置

親 VM をクローニングしてテンプレートにし、新しい VM にテンプレートを配置する前に、[前提条件](#)を確認してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [親 VM からテンプレートへのクローニング](#)
- [新しい VM へのテンプレートの配置](#)

親 VM をクローニングしてテンプレートにし、新しい VM にテンプレートを配置した後、VM で LMS をセットアップするには、[クローン仮想マシンでの LMS の設定](#)を参照してください。

VM で LMS を設定した後に発生する既知の問題を、[既知の問題](#)に示します。

親 VM からテンプレートへのクローニング

ここでは、親 VM をクローニングしてテンプレートにする方法について説明します。

1. vSphere Client を起動し、親 VM を検索します。
2. 親を右クリックし、[VM] > [Template] > [Clone to Template] を選択します。
3. テンプレートの名前を入力し、[Inventory Location] を選択して [Next] をクリックします。
4. テンプレートを格納するホストを選択し、[Next] をクリックします。
5. テンプレート ファイルを格納するデータストアを選択し、[Next] をクリックします。
6. [Same format as source] オプションを選択し、[Next] をクリックします。
7. [Do not customize] オプションを選択し、[Next] をクリックします。
8. 設定を確認し、[Finish] をクリックします。

テンプレートの作成プロセスの経過は、[Recent Tasks] オプション、または ESX ホストの [Tasks & Events] タブに表示できます。



(注)

各ステップの完了後に [Compatibility] パネルを確認して、互換性に問題がないか調べてください。問題を修正して移行を続行します。

このテンプレートを新しい VM に配置するには、[新しい VM へのテンプレートの配置](#)を参照してください。

新しい VM へのテンプレートの配置

ここでは、親 VM からクローニングされたテンプレートを新しい VM に配置する方法について説明します。

1. vSphere Client を起動し、テンプレートが格納されているホストを検索します。
2. テンプレートを右クリックして [Deploy virtual Machine from this template] を選択するか、[Getting Started] タブから [Deploy to a new Virtual Machine] を選択します。
3. 新しい仮想マシン（クローン）の名前を入力し、[Inventory Location] を選択して [Next] をクリックします。
4. 新しい VM を実行するホストを選択し、[Next] をクリックします。
5. 仮想マシン ファイルを格納するデータストアを選択し、[Next] をクリックします。
6. [Same format as source] オプションを選択し、[Next] をクリックします。
7. [Do not customize] オプションを選択し、[Next] をクリックします。
8. 設定を確認し、[Power on the virtual machine after creation] を選択します。
9. [Finish] をクリックし、クローンの作成プロセスを開始します。

クローンの作成プロセスの経過は、[Recent Tasks] オプション、または ESX ホストの [Tasks & Events] タブに表示できます。



(注)

各ステップの完了後に [Compatibility] パネルを確認して、互換性に問題がないか調べてください。問題を修正して移行を続行します。

